



## すぐれた自然を後の世代に引き継ぐために

### 国立公園・保全整備課

国立公園は、我が国の代表的な風景地を、環境大臣が自然公園法に基づいて指定するものです。国立公園・保全整備課では、伊勢神宮をはじめとした歴史と文化などが人と自然との関わりを感じさせる伊勢志摩と、原生自然が豊かで、古くからの信仰の山として有名な白山という性格の異なる2つの国立公園のすぐれた自然を保護するとともに、人々が自然に学び、体験するための利用推進の場づくりを行っています。

#### 国立公園の保護管理

伊勢志摩国立公園では一昨年、ウミガメが産卵する砂浜を保護するため、自動車などの乗り入れを規制することを目的に公園計画の変更を行いました。白山国立公園では、石川県や地域住民とともに登山利用に伴い高山帯に生えるようになったオオバコ駆除などの自然の管理を行っています。また、国立公園を訪れた人々への地域の自然・文化・登山情報の発信や、自然体験活動の拠点・場となるビジターセンター、園地・歩道など利用施設の充実を図っています。

#### 自然とのふれあいの推進

自然を守りながら、ふれあい、遊び、学ぶ観光を行うことにより地域の活性化を図るエコツーリズムの推進や、次代を担う子どもたちを対象に、国立公園の豊かな自然にふれて自然環境保全の大切さを学ぶ、子ども自然体験プロジェクトを実施しています。



高山帯に生えるようになったオオバコの駆除活動  
(白山国立公園)



英虞湾で行われているシーカヤック体験  
(伊勢志摩国立公園)

## いのち 多様な生命あふれる地域づくり

### 野生生物課

地域のかげがえのない自然環境及び生態系を維持・保全・再生するため、多種多様な野生動植物の保護と外来生物による被害防止対策などに取り組んでいます。



国指定藤前干潟鳥獣保護区(名古屋市)

#### 野生鳥獣の保護管理

鳥獣保護法に基づいて野生鳥獣の捕獲を規制するとともに、国指定鳥獣保護区(白山、片野鴨池、七ツ島、藤前干潟、紀伊長島)を設定して鳥獣保護管理員を配置し、適正な保護管理に努めています。

このうち、ラムサール条約湿地に登録されている藤前干潟では、稲永ビジターセンター及び藤前活動センターを整備し、情報発信や体験学習などを通して生物多様性の保全と賢明な利用を推進しています。



オオクチバス等防除モデル事業(犬山市)

#### 絶滅のおそれのある野生動植物の保護

絶滅のおそれのある希少野生動植物の捕獲・譲渡などを規制するとともに、日本海側の一部地域に生息するアベサンショウウオや、福井県の夜叉ヶ池だけに生息するヤシヤゲンゴロウなどの希少種について、地域との連携の下、その保護に努めています。

#### 外来生物対策

外来生物の輸入・飼育などの規制を行うとともに、地域と連携しながらオオクチバス等(愛知県犬山市、石川県片野鴨池)、アルゼンチンアリ(愛知県田原市)の防除事業を行っています。

## 中部地方環境事務所の組織図

#### 所長



中部地方環境事務所のホームページは、<http://chubu.env.go.jp/> です。

また、中部地方環境事務所では、「環境省ちゅうぶ環境メールマガジン」を発行しています。購読をご希望の方は、上記ホームページをご覧ください。